

やまゆりニュース

「やまゆりニュース」第3号 発行日：平成22年9月1日
 発行元 NPO法人あさお市民活動サポートセンター
 〒215-0021 川崎市麻生区上麻生1-11-5
 TEL. 044-951-6321 FAX. 044-951-6467
 発行人：植木昌昭 編集人：佐々木直子

川崎市麻生区市民活動支援施設
 麻生市民交流館やまゆり

「トコロジスト」のすすめ

ハイライト：

- 「地域の専門家」トコロジストの視点で街を巡ってみよう
- コミュニティバス「山ゆり」の運営実態と今後の展望
- あさおくトリビア第1弾ー
- 地元大型店が行っている配達サービスをご存じですか？
- 麻生区の交通不便地区と高齢化
- 「やまゆり」秋のイベント

目次

「トコロジスト」のすすめ	1
会員募集	1
走れ！ 山ゆり号	2
山ゆり号乗車レポート	2
我が街ASAO 散策MAP	3
あさおくトリビア	4
データで見る麻生	5
お買い物配達サービス	5
平成22年度助成事業決定	6
やまゆりイベント紹介	6

耳 なれない言葉ですが「トコロジスト」という造語があります。日本自然保護協会の会報『自然保護』によると「その場所の専門家」「あなたの地域の専門家」を意味します。具体的には、自然保護に関わる観察の視点として「その場所の地形地質や動植物はもちろん、歴史・名所旧跡・民族伝承などにも関心を持ち、自分の足で常に歩き回り、実際の状況を把握するのが大事なこと」と平塚市博物館元館長 浜口哲一氏は提唱しています。ひるがえって、ささやかな自身の地域活動を省みると、立ち行かなくなった活動の多くが話題性に流され、自分の足で歩い

ての状況把握が不十分であったことに気付かされます。まちづくりなど市民活動も自然保護活動と同様に「トコロジスト」の視点に立つことが肝要と考えます。やまゆりでは、皆さまの活動のお役に立つため、地域に関する本の閲覧をはじめさまざまな地域情報を提供しています。皆さま！「あなたの地域の専門家」への手がかり探しに、やまゆりを一度のぞいて見てください。また、本号では麻生区の特徴であり財産でもある“坂”を特集しました。どうぞご覧ください。

理事長 竹市八郎



↑高石の坂は勾配が急なものが多い



↑高石団地周辺を走行する山ゆり号



←吹込交差点に下る坂道



↑尾根道の生活階段

正会員・賛助会員の募集！

「麻生市民交流館やまゆり」の運営組織NPO法人あさお市民活動サポートセンターでは運営を応援していただける正会員・賛助会員を募集しています。

同館は、麻生区の市民活動の拠点として皆さまの活動や交流を推進しております。またさまざまな事業を企画・実施して積極的に市民の交流を推進しております。

これからも各事業の充実を図って

参りますが、それにはより多くの方々のご援助・ご支援が欠かせません。ご参加いただくことで、地域社会と関わりを持ったり、市民活動に参加する場を得たり、同じ目的を持った仲間もできます。皆さまのご応募をお待ちしております。

会員になられた方には、区民記者が取材した会報紙「やまゆりニュース」や各種イベントなどの情報をお届けしています。

詳細はお問い合わせください。

■会の目的

麻生区を生活、活動の場としている人々に対し「麻生市民交流館やまゆり」を通して、その交流及び活動推進に関する事業を行い、住み良いまちづくりに寄与する

(1) 正会員

目的に賛同し、この法人の活動及び事業を推進する個人及び団体

(2) 賛助会員

目的に賛同し、この法人の活動を援助する個人及び団体

会員の種類	個人団体の別	会費(1口金額)	応募口数
正会員	個人	2,000円	1口
	団体	3,000円	1口
賛助会員	個人	2,000円	1口以上
	団体	5,000円	1口以上

走れ！「山ゆり号」

麻生

区高石地区において、本格運行を目指した「山ゆり号」の試行運行が、コミュニティバス協議会(会員72名)の主導で平成22年6月から8月のあいだ行われた。平成16年度の市主導によるコミュニティバス運行にはじまり、平成18、19年度に続いて4回目の運行である。

今回は乗車定員8名の車両で、乗降時のステップが出入りするよう改修したほか、運賃体系を変更した。

これまでの課題である収益性の確保のため、運賃を大人200円から300円に改めたほか、サポート制度(1人当り年間6000円。7月末現在212人が応募)を導入した。また市からの援助で70歳以上、障害者100円引やサポータ50円引など木目細かな配慮を取り入れた。運行ダイヤは始発9時52分、最終18時2分で原則1時間1本。利用者の少ない土曜、日曜は運休であった。

コースは路線バスが入れない狭い道路をぬっており、高石5丁目手前、イトーピア百合ヶ丘北口前、生田病院を過ぎたところなど急勾配の坂が多い。利用者の

多くは買い物客と通院患者である。重い荷物を持っているときや、病いをかかえての歩行は若者でもきついが、高齢者にとっては耐え難いものである。少しでも早い本格運行が望まれる。

取り組み方や運行方法は異なるが、川崎市内では野川、宮前、高津などで9グループが運行実験を行っている。そのなかで麻生区の高石地区は先行していることもあり、7月24日に中原市民館で開催された川崎市の地域環境リーダー育成講座で、コミュニティバス協議会の岡野幸雄氏が、取り組みの成果について発表された。

岡野氏曰く「車内で高齢者と若者の会話が聞こえたり、運転手さんに差し入れをする乗客、また高齢者の乗降に手を差し伸べる人達の姿にコミュニティらしさも出てきた。」「この盛り上がりを是非本格運行につなげたい。」

岡野氏、協議会員、地域住民の願いが1日も早く実現しますように。

取材・撮影・記事 中島久幸



百合ヶ丘駅前で発車待ちの「山ゆり号」



運行コースには急な坂が多い



配布資料をセットする岡野氏

山ゆり号乗車レポート



★走れ、走れ！「山ゆり号」に乗って

6月28日百合ヶ丘駅前12時17分発の「山ゆり号」に乗った。運賃300円支払う。運転手と助手が前列に座り、2列目2人席に私は杖を持った女性と一緒に座った。乗客は私を入れて3人。いずれも百合ヶ丘駅からで、お2人はスーパーの買い物袋を持っていた。お隣の方に話しかけると、「私は平成天皇と同年。1人暮らし。いつもは百合ヶ丘まで行くにはタクシーを呼ぶの。送迎代300円で1010円。帰りは駅から乗って710円。昔は、200段の階段を使って駅まで行ったけどね。階段で行けば早いよ。でも、今は膝が痛いものだから使わない。家にじっとしていてもつまらないしね。山ゆり号で駅まで出て、1時間買い物して今帰るところ。」だ



という。イトーピア駐車場あたりから坂をぐんっと上っていく。高石団地までの東側には、果樹園もあり、緑が残っている。

途中からは誰も乗らなかつた。

乗客2人は水暮町会駐車場で降りた。

12時28分、高石団地前着。乗車11分で終点。

このまま百合ヶ丘駅まで乗るにはまた300円支払うという。しかしこのあと1時間は運転手の方達も昼休みで、次は13時34分の発車だという。

歩いて百合ヶ丘駅まで下ることにする。谷を走る小田急線の向こう側に、家や

マンションなどが見える。この地区の家々の窓からはさぞ眺めがよいことだろう。そして日当たりも良いことだろう。少し歩くと下の道へとつながる階段がある。階段の途中には家々の玄関も並ぶ。あつという間に小田急線沿いの道に出た。百合ヶ丘駅まではもうすぐだ。

階段は、上の通りと下の通りをつなぐ便利な交通路なのだ。階段が不自由になったら、山ゆり号でサポートしてもらえると便利だと思った。

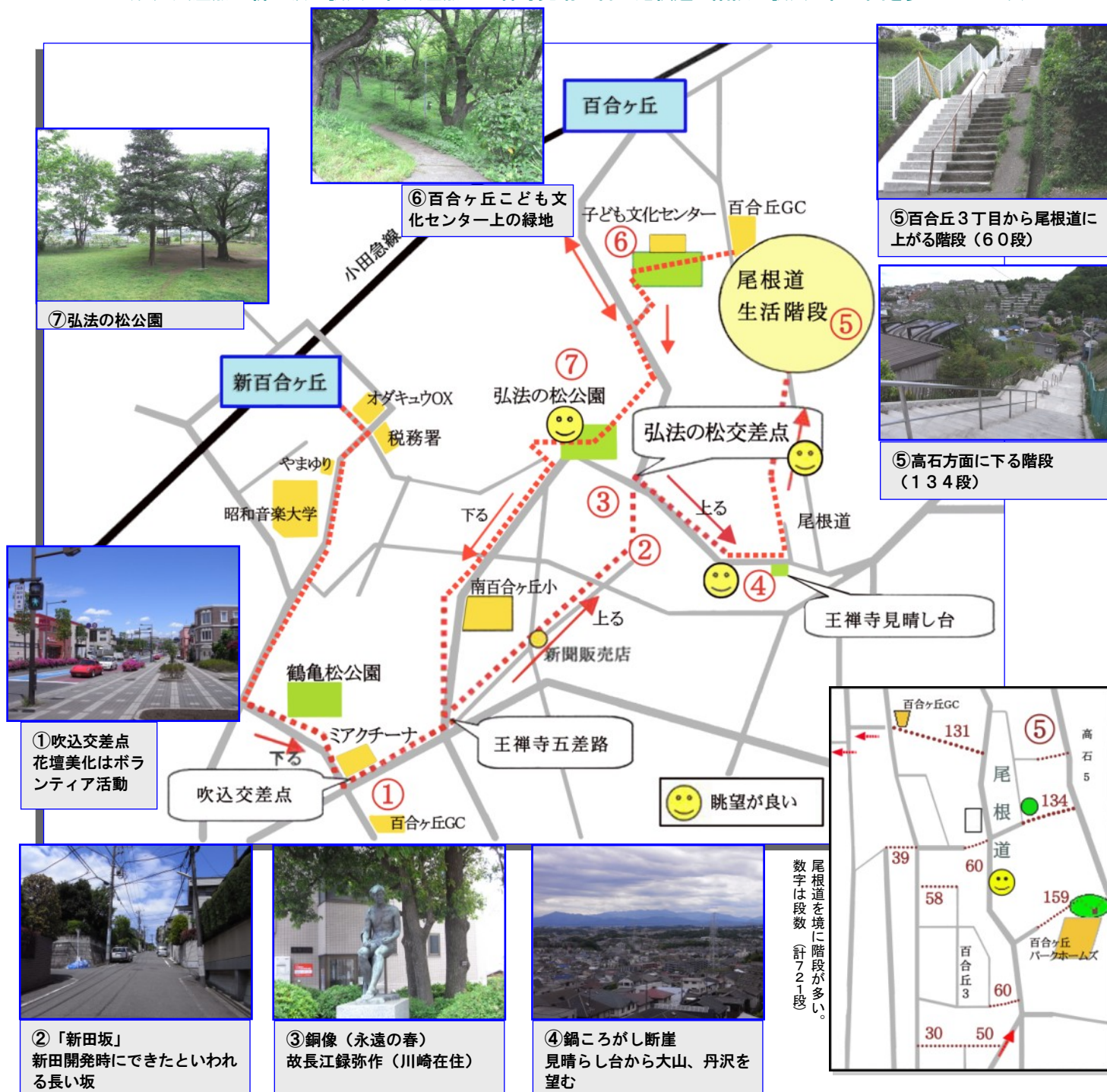
取材・撮影・記事 丸山とし子



我が街ASAO 散策MAP

多摩丘陵の「あさおのまち」は、いたるところに坂道や階段がある

(吹込交差点—新田坂—弘法の松交差点—王禅寺見晴し台—尾根道—階段—弘法の松公園を歩いてみよう)



坂道や階段が似合うまち「あさお」

現在の団地坂上バス停(王禅寺見晴し台)から百合ヶ丘駅方面に向かう尾根道の東西側には坂道や階段が多い。多摩丘陵の複雑な谷戸の風景である。開発前は、この尾根や斜面は雑木林や畑地で、谷戸には水田、畑があり、米やサツマイモ、ナガニンジン、ジャガイモなどを栽培し、養鶏や養蚕もやっていたと聞く。柿(王禅寺柿)、みかんの果樹も植えられていた。今は両側とも住

宅地になっているが、自然地形を残したままの開発は坂道や階段を多く作った。高石には農家もあり、畑地では野菜、みかん、ぶどうも栽培されており、その名残りを思わせる。住宅地の階段は急階段で段数も多いが、便利に利用されている。百合ヶ丘駅に下る場合はこの階段を利用し、帰りはバスを利用する人も少ない。坂や階段の上り下りは大変だが、自然に囲まれて眺望も良いし、標高

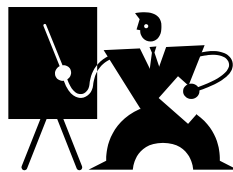
が高いので夏は涼しい。この尾根道からは大山、丹沢、遠くには富士山も見える。高石側を、もっと便利にしたいと、6月から8月まで百合ヶ丘駅、高石5丁目、生田病院、高石団地を循環する「乗合タクシー山ゆり号」が試行運転された。自然地形を残した環境で、自然と人が共生する。いつまでも、そういう、「あさおのまち」であってほしい。

取材・記事 石崎純也

あさおくトリビア

あなたはいくつわかりますか？

- A 新百合ヶ丘駅近くの昭和音大の敷地は以前
①運動場 ②ゴルフ場 でした。
- B 鶴亀松公園には弘法の松に並び称される松がありました。松を愛でて
①鎌倉時代 ②江戸時代 に鶴亀松と命名されたそうです。
- C 鶴亀松公園の坂道を下り吹込交差点を通り過ぎ、上っていくと
①たぬき ②あらいぐま の動物標識があります。
- D 新田開発時にできた百合ヶ丘団地につづく長い坂道は俗に
①勝坂 ②しんぜん坂 といいます。
- E 弘法の松公園には春に
①さくら ②菜の花 が咲いています



答え A① B② C① D② E①

無料提供

区内健康MAP

区役所に隣接する保健福祉センターの3階受付には健康づくり情報の一環として、麻生区を地区別に編集した3種の「あさおウオーキングマップ」と初級編ウオーキングマップの冊子があります（無料配布）



★お散歩コースは、階段が多い！★

～階段の歩き方 ミニ知識～

ジョギングは両足が地面から離れ、身体は体重の3～4倍の衝撃を吸収します。ウォーキングは、片足が必ず地面についているので衝撃は体重の1.2倍です。階段の上り下りはどうでしょう。関節への負担が増し、体重の3倍の負荷が腰や膝にかかると言われてています。

階段を上るときには、靴の裏全体で踏んでしまうのではなく、つま先から3分の2だけを階段にかけて、かかとは階段から少し出すのがポイント。やや前傾姿勢で膝を伸ばしきらないで体を持ち上げましょう。これなら足を引き上げる高さが低くてすむので疲れを軽くすることができます。

階段を下りるときは、つま先を階段から少し出し5本の指で階段のへりをつかむようにするのがポイント。膝を伸ばしきらないようにして5指に重心をかけましょう。



（参考資料：ウォーキングの本 池田克紀編著 岩波ジュニア新書
「歩き方」ひとつで生き方が変わる 駒崎優著 サンマーク出版）

あさおくトリビア A 運動場

1969年あさひ銀行（当時）の陸上競技のトラックが造成されました。2003年、麻生区の街づくり計画でこのグラウンドの開発計画が策定され、2004年に昭和音楽大学の誘致、2007年春、現南校舎・オペラホールがオープンしました。



あさおくトリビア B 鶴亀松

江戸末期、代官江川太郎左衛門が愛で、鶴亀松と命名されました。聳え立つ鶴松と地をほう亀松は樹齢200年と碑に刻まれています。小高い尾根道の雑木林・草地の公園と周辺の整備を町会、自治会が定期的に行っています。



あさおくトリビア C たぬき

自動車のヘッドランプにすくんでしまう習性から、たぬきは交通事故に遭う件数が多く、都市部の動物標識はたぬき図柄が一般的です。真福寺～白山周辺では4基、麻生区計で11基あり今春2匹、この標識近くで事故処理したそうです。



あさおくトリビア D しんぜん坂

土地の人が呼ぶ地名は概してなまりや、漢字も当て字が農村部では通用し一般化します。かつて百合丘団地に続くこの谷戸は水が豊かでお米がおいしかったそうです。いろは田など小さな水田が多く新田開発が盛んでした。



あさおくトリビア E 弘法の松公園

樹齢50年以上の公園広場の桜と2003年に植栽の松が並んでいます。公園の桜10数本はお花見シーズンの主役です。かつて弘法の松は高さ30mの巨松で、津久井道の道標として区の中でも名跡として長く語り伝えられています。



データでみる麻生 麻生区の交通不便地区と高齢化

丘陵地の宅地、高齢化で環境 楽から苦？ 移動可能サービスで模索

麻

生区は丘陵と谷戸の豊かな自然環境を背景に宅地化が進む一方で、高齢化に伴い、交通不便地区※を中心にシニア世代の外出行動にブレーキがかかり、その局面打開が急がれている。

グラフ1にあるように、麻生区の65歳以上の人口構成比率は川崎市を上回る。交通不便地区の町区分では王禅寺以外は区を下回っている。だが、1960年前後から宅地化が進んだ北面地区の高石(1~6丁目)細山(1~7丁目)の町区分では各2丁が区を上回る。

いずれも丘陵地の坂道、細道、行き止まりの尾根道などの地形条件を抱え、高齢者の行動に規制が働く側面が強い地域だ。

それはグラフ2とは違う麻生区の高齢者の日常の外出行動を見ることにもなる。坂下のストアが購買力の低下で閉店を余儀なくされれば「ちょっとした買い物」が困難になり「ちょっとお医者さんと役所へ」とはいきにくくなる。

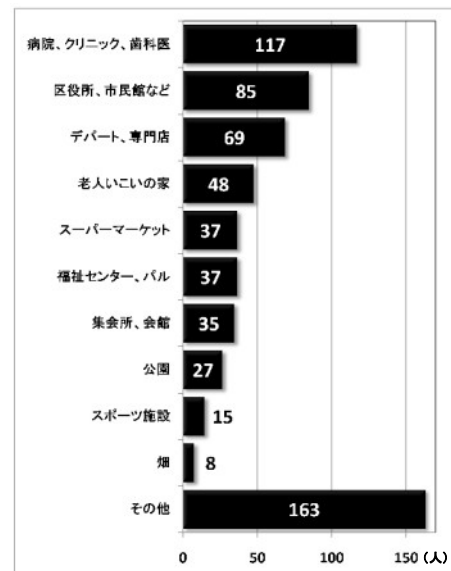
さらに、車の免許の更新ができなくなり、外出の不便さが日常に感じるようになれば、家に閉じこもりがちになり急速に老いが進行する、といえよう。

このようなことから、移動可能な条件を支援するサービス、コミュニティバス計画が模索されている。

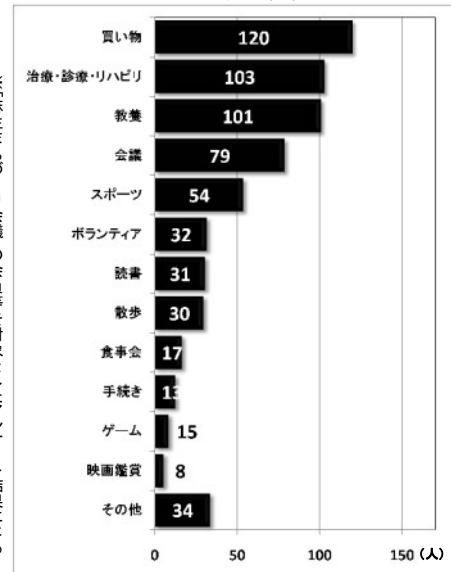
取材・記事 池山幹夫

交通不便地区※=2004年麻生区刊「都市計画マスタープラン麻生区構想区民提案」P80で、坂が多い丘陵地や路線バスが不便な地域の町名があげられている。

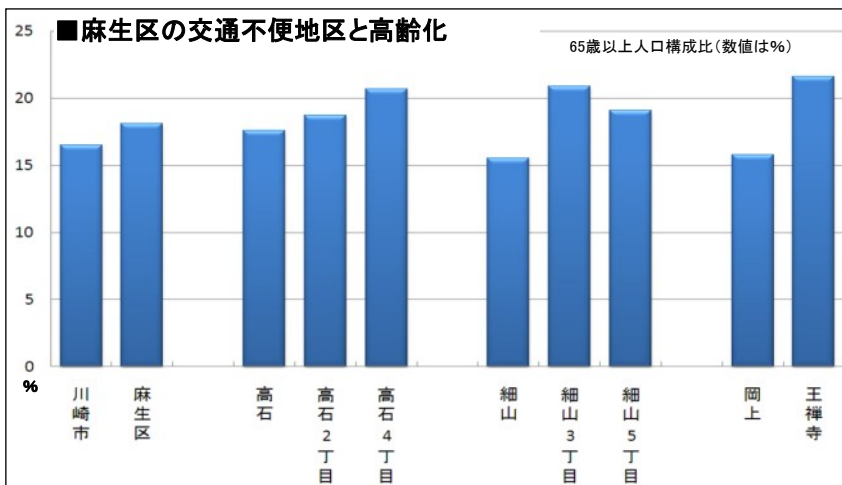
【グラフ2】 ■日常の外出先(65歳以上)



■日常の外出先で行うこと(65歳以上)



※「麻生まちづくり会議」の会員等を対象としたアンケート結果による
集計結果 アンケート回答数162、有効回答数157であった



【グラフ1】 川崎市統計情報課 2010年3月末資料から

ご存じですか? ★麻生区内のスーパーのお買物配達サービス★ 【 】内は配達品の条件

重いものやかさばる物を買ったとき、雨の日や体調が悪いときなど、自宅まで届けてもらえるサービスは高齢者にとっても嬉しいサービスです。麻生区のスーパーで購入品の配達サービスを実施しているお店を紹介します。

●ゆりストア

百合丘本店、柿生店 王禅寺店、千代ヶ丘店
料金◇無料(3000円以上購入者対象)
配達エリア◇各店舗より1.5km以内【生もの、冷蔵品・冷凍品、つぶれやすいもの、われもの不可】
※15時まで受付分は当日、15時以降は翌日配達(各店共通)

西武ストア	
百合丘高石	全域配達
多摩美万福寺	配達
東百合丘	致しませ
王禅寺東	1.2.3日BOK
王禅寺西	1.2日BOK
千代ヶ丘	1.2.3日BOK
細山	1~5日BOK
面生田	1.4.5日BOK
南生田	2日BOK
上麻生	2日BOK

ゆりストア本店の配達エリア

●コープかながわ 千代ヶ丘店

料金◇300円(専用BOXに入る品物で1箱につき)【冷凍品不可、冷蔵品も不可あり】
配達エリア◇程程、高石、多摩美、千代ヶ丘、細山、万福寺、向原
※12時半までの受付分を当日配達

●コープかながわミアクチーナ上麻生店

料金◇300円(専用コンテナに入る品物で1個につき)【冷蔵品・冷凍品不可】
配達エリア◇麻生区全域
※11時半までの受付分を当日配達

●オダキュウOX 新百合丘店

料金◇200円(3000円以上購入でお届けBOX1個につき)1万円以上購入は無料配達【配達できない商品あり】
配達エリア◇麻生区全域、稲城市一部

※14時まで受付(14時以降【常温のみ】受付分は翌日配達) *オダキュウOXは万福寺店、栗平店でも実施。詳細は要問合せ

●新百合丘サティ・ビブレ

・即日便
料金◇カード会員:2000円以上購入者は専用箱一箱につき100円で配達、2000円未満は一箱につき200円/一般:一箱300円
【冷蔵品・冷凍品、壊れやすいもの不可】
配達エリア◇麻生区全域、ほか
※14時まで受付分を当日配達
・まごころサービス
①65歳以上の方 ②お体が不自由な方 ③妊娠されている方《入会手続き必要》
3000円以上購入で専用箱2箱まで翌日無料配達【配達できない商品あり】
配達エリア◇麻生区全域、ほか
※18時まで受付

麻生区地域コミュニティ活動支援事業 平成22年度 助成団体決定

平成22年度の助成金は以下の7団体に
交付されることになりました。

団体名	◆事業名・内容
環境を考え行動する会	◆「学校・施設に広げる 生ごみリサイクルの輪」 主にごみの勉強をする4年生を対象にして学校にリサイクルを提案して、実施。同様に、保育園などにも提案して、実施
かわさきかえるプロジェクト	◆「発掘しよう！ まちの油田」 家庭から出る廃食油を人の集まる場所にポイントを設置して回収。回収した油はリサイクル石けんの原料として提供
シヤルメ	◆「シャルメと季節を巡る親子コンサート vol13」 ピアノとクラリネットを中心に他の楽器演奏者とコラボ。楽器を実際に触れ、体験し子育て中の家族が一体となって感動を共有
グループ「せっけんの家」	◆「せっけんから始めよう！ エコライフ」 多くの地域市民が参加出来るセミナー、体験せっけん作り、せっけん関連施設の見学、湧水めぐり等を企画
麻生カラオケ楽会	◆「ふるさと ぶらり旅」 民謡を通じ、参加者の「故郷・ゆかりの都道府県など」を巡り、郷土自慢など「県人会的な仲間づくり」を行う
麻生・多摩植物画同好会	◆「植物画連続講座&麻生区花と木マップづくり」 身近な草花で植物画を描き、植物の構造の美しさ・不思議さを再発見。また麻生区花と木マップづくりを通じて、世代を超えた情報交換・交流を行う
朗読の会 りんどう	◆「平和について思うひと時」 朗読を通して戦争を知らない世代の人達に戦争と平和について考え、話をする機会をつくる。次世代を担う子どもたちの健全育成に貢献する

やまゆり 秋のイベント

「やまゆり」では10月からイベントが盛りだくさん

10月23日(土)

「なつかしい昭和へ」
タイムスリップ！

麻生区の元気なシニアが全員集合して
なつかしいイベントを中心に
交流を深めよう

- ・バラエティショー 水戸黄門漫遊記(有料)
- ・歌声酒場 昭和歌謡曲(有料)
- ・オヤジの選んだ多摩川物産展 (あさお多摩川学会)
- ・麻生区30年の歴史 (マイタウン21 創刊30周年)
- ・TVスタートからの懐かしいCM放映
- ・第2回区民講師 応募者説明会
- ・ふるさと ぶらり旅紹介 (麻生区地域コミュニティ支援事業)

10月30日(土)

第2回 健康見本市
健康に関するヒントが
盛りだくさん

- ・区内の健康に関する団体の実技紹介
- ・パネル展示による紹介
- ・血管年齢の測定
- ・体のツボを知らう講座 (先着100名に資料贈呈)



血管年齢の測定の様子 (H21)

※詳細は変更になる場合がありますのでイベントのチラシをご覧ください

11月6日(土)

歌声喫茶 秋

春夏秋冬、
年4回の人気イベント
今回は秋の曲を主体に
唄いましょう♪



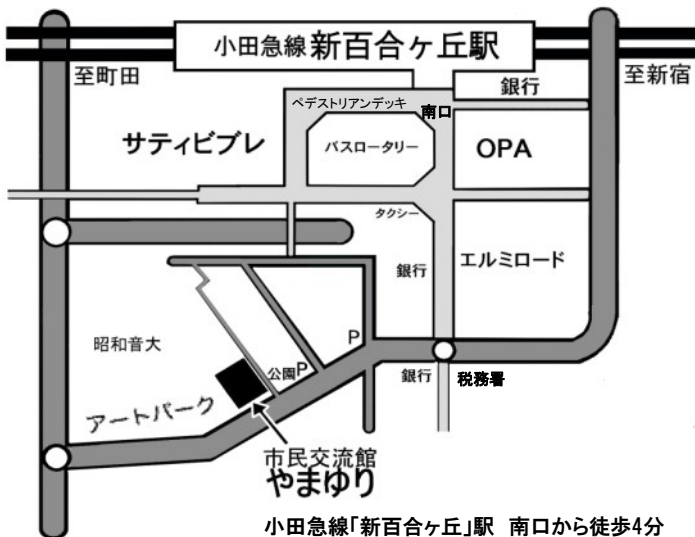
11月13日(土)

ふるさと ぶらり旅！

最初の旅先は
北海道・東北から

- ・前半は旅先の民謡聞きくらべ (区民講師の解説あり)
- ・後半はお国自慢の懇談会 (持ち込み自由)

いずれ県人会になったら
楽しいですね



NPO法人あさお市民活動サポートセンター

〒215-0021
神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5
TEL. 044-951-6321 FAX. 044-951-6467

開館時間

月～金 9時30分～17時
※平日夜間・土日とも予約すれば利用可

休館日

祝日、年末年始(12/29～1/3)、施設点検日



市民交流館やまゆり

編集後記

多摩丘陵の豊かな自然が残る麻生区。多くの人がある無名の坂とともに暮らしています。今号はこの「坂道」をテーマに、区民記者が実際に街を歩き、額に汗を集めた情報を載せました。写真がきれいな4色版は「やまゆり」のホームページで見られます。そちらもご覧いただければ幸いです。(佐)

http://web-asao.jp/yamayuri/ay_news.html